



教師教育と教育実践の改善に寄与する連続セミナーの開催

教育学部 教授 深見 俊崇, 御園 真史

先鋭研究領域創出を起点とした大学経営改革にもとづき、島根大学教育学部は、教員養成を中心とした「教師教育研究」をリードする山陰教員研修センター先鋭研究部門を開設しました。2025年1月より学内外の研究の推進と交流のために連続セミナーを行っています。

第3回セミナーでは、東北学院大学の稲垣忠氏をお招きし、「探究のデジタルツイン化と教師の役割」について話題提供していただきました。生成AIや学びの探究が推進されている現状にあって、現実世界のデータをもとにデジタルの双子を作り出すデジタルツインに焦点を絞り、教育とデジタルツインのかかわり、教育データの活用、それらを通じた教師の役割について詳しく解説いただきました。

第4回セミナーでは、先鋭研究部門の大崎理乃氏と中村謙斗氏より話題提供いただきました。大崎氏からは「公立高校と連携した、生成AIによる探究学習支援」と題して、生成AIを用いた探究学習支援を通して公立高校での実践をどのように教育実践研究に展開していくかを解説いただきました。また、中村氏からは「TEMによる教育実習生の工夫の過程」と題して、TEMを用いた教育実習生の授業における工夫等について、どのような変容が見られたのか等、詳しく説明いただきました。

